

曾子^{そうし}曰^いわく、「吾^{われ}日に吾^わが身を三省^{さんせい}す。人の為^{ため}に謀^{はか}りて忠^{ちゅう}ならざるか。朋友^{ほうゆう}と交^{まじ}わりて信^{しん}ならざるか。習^{しゆ}わざるを伝えしか。」と。

曾子は言われた、「私は、毎日、何度となく、自分自身を振り返る。相手を思っ行って行動ができたか。友だちに誠実であったか。よく分かっていないことを伝えなかったか。」と。

私たちの松合小学校は、今年度で閉校となり、4月からは不知火小学校と統合します。そこで、私たち5・6年生は、今まで学習してきた「論語・日本語」の中から、来年度に向けて大切にしたい言葉を一つ選ぶことにしました。

この他にも、譲り合う心を説いた「君子は争う所無し。揖讓^{いしじょう}して降り下る。」や偏らない仲間づくりを説いた「君子は周して比せず。」も候補として残りましたが、今、私たちのクラスで特に大切にしていきたい言葉として、この「吾日に吾が身を三省す。」を選びました。

今の松合小の5・6年生は、人数も少なく、小さい頃からずっと一緒になので、お互いの性格も分かっていますし、何を考えているのかもだいたい

分かります。しかし、来年度から6年生は中学校で、5年生は新不知火小で、たくさん新しい友だちとの出会いが待っています。その新しい友だちと一緒に過ごす中で、一日一日を振り返り、友だちのために誠実に行動できたか反省することは、友だちとのきずなを深め、信頼できる友だちをたくさん増やすことにつながるでしょう。

来年度からの新たな学校生活に、少しでも不安もあります。それでも、私たちは、松合小で身につけた「まっちゃん魂」と、この論語の言葉を胸に、それぞれの中学校や小学校で、たくさん友だちを増やして、楽しい学校生活を送れるように、がんばっていききたいと思っています。

最後は、私たちが紹介します

本部 弘忠

河野 多聞

上川 真咲

丸目 彩心

茅野 爽夏

西山 柚花

早川 あり紗

田尻 詠

宮本 聖央

読んでみたい 論語

その71 - 最終回 -

市内小・中学校では、平成27年から「論語」を学んでいます。

「論語」には古代中国の思想家孔子が考える、人としての生きる道や道徳が示されています。

松合小学校
5・6年生の皆さん

松本 勇登

本部 智久

山下 もも

浦野 翔太

笹原 翔

竹永 陽菜

田村 圭